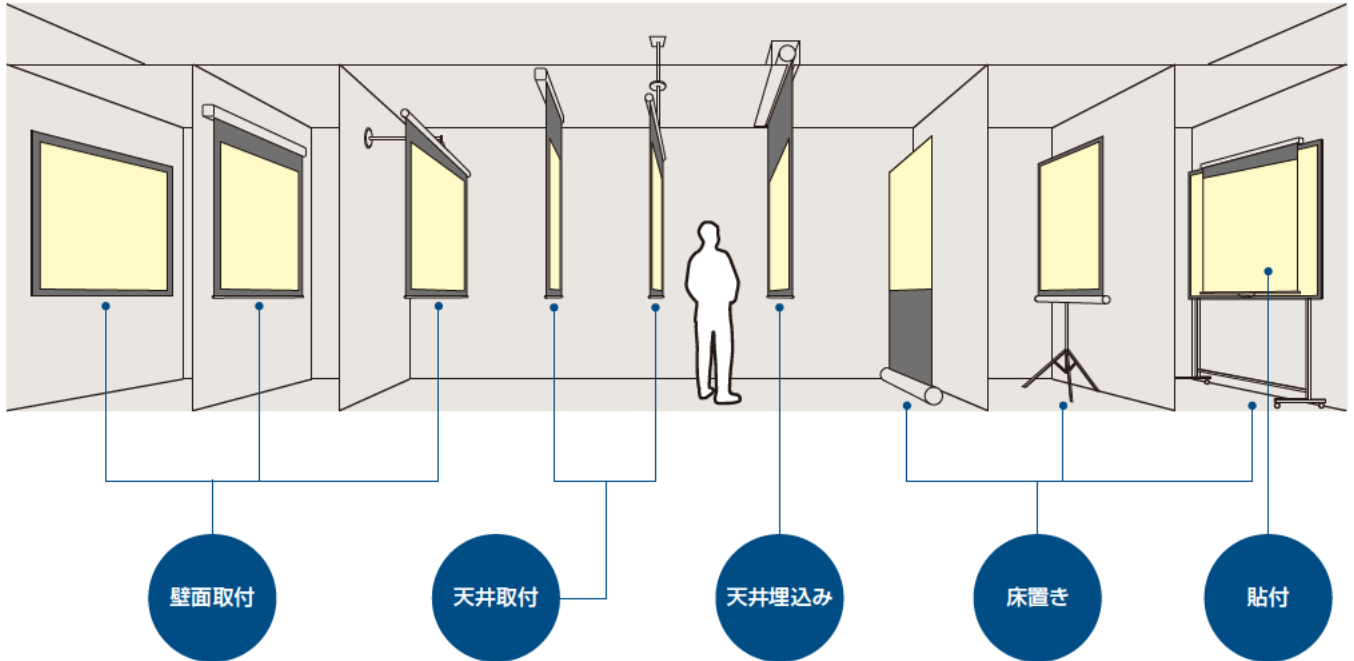


スクリーン選定のポイント -5-

スクリーンの設置方法

設置方法を工夫することで壁面スペースに関わらず取り付けられる場合もあります。設置場所や、使用頻度に応じてスクリーンの取り付け方法を決定します。



スクリーンを壁面に取り付ける方法です。張込常設と収納常設が可能です。

スクリーンを天井面、あるいはスラブ*に取り付ける方法です。収納常設が可能です。

スクリーンを天井に埋め込む方法です。収納常設が可能で、収納時には天井面に突起物などがなくすっきりと収まります。

スクリーンを床に置く方法です。簡易型になるので、スクリーンの移動や片付けが容易に行えます。インフレータースクリーンは、空気圧により自立します。

マグネットの力を利用して、黒板やホワイトボードの板面に貼り付けます。高い平面性が得られます。図は便宜的にスタンドをホワイトボードのイメージとしています。

*スラブ：鉄筋コンクリート構造で、床を支える板状のコンクリートのこと。設置方法：P.20参照

スクリーンの収納方法

スクリーンの収納方法は大きく3タイプに分けられます。スクリーンを使用していない時の設置場所の利用の仕方、使用頻度などに応じてどのタイプが最適かを選択します。

常設		簡易(持ち運び可)
完全常設(張り込み)	収納常設	
	電動	
	手動(スプリング)	
平面性に非常に優れています。使用しない時は、カーテンや扉などで幕面を保護することをお勧めします。	スペースを有効活用できます。手動は、ボールストップ・ソフトウインド機構やロータリーダンパー機構等により、スムーズな昇降が可能です。	コンパクトで手軽に使用することができます。取り付けに関する設置工事の必要がありません。